

# 山口県(萩市)の構成資産

山口県(萩市)の構成資産は次の5つです。

## 萩反射炉 (製鉄・製鋼)

〒758-0011 山口県萩市大字椿東4897-7



西洋式の鉄製大砲鑄造を目指した萩(長州)藩が、1856年に建設した反射炉の遺跡。萩(長州)藩から佐賀藩に派遣された大工棟梁が持ち帰った反射炉の見取図を基に、試作的に建設された。

## 恵美須ヶ鼻造船所跡 (造船)

〒758-0011 山口県萩市大字椿東5159-14



幕府の要請や木戸孝允の意見により、萩(長州)藩が設けた造船所の遺跡。藩は、伊豆の戸田村や長崎海軍伝習所に船大工ら技術者を派遣し、西洋技術の情報を得て伝統的な和船の建造技術を使って、2隻の西洋式帆船を建造した。



## 大板山たたら製鉄遺跡 (製鉄・製鋼)

〒758-0501 山口県萩市大字紫福257-5(山地番)

日本の伝統的な製鉄方法であるたたら製鉄の遺跡。萩(長州)藩が西洋式帆船「丙辰丸」を建造する際に用いた船釘などの原料鉄を供給しており、幕末の西洋式帆船建造に当時の日本の在来技術が利用されたことを示している。



## 萩城下町 (当時の時代背景)

〒758-0057 山口県萩市大字堀内1

毛利輝元が建設した萩(長州)藩の政治・行政の中心であった萩城の跡(城跡)、藩の産業化や技術獲得などの政策を遂行した、身分が高い武士の屋敷等があった旧上級武家地、当時の経済的な様相を現在に伝えている旧町人地の3つの区域によって構成される。



## 松下村塾 (人材育成)

〒758-0011 山口県萩市大字椿東1537-1

萩(長州)藩の兵学者吉田松陰が主宰した私塾。吉田松陰は実家の杉家に謹慎していた1856年から門人への指導を開始し、1857年に現存する塾舎に移った。1858年に閉鎖されるまでの約2年10ヶ月の間に約90名の門人に指導を行った。

## 明治日本の産業革命遺産 ～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～

## 8県11市23構成資産MAP



- 1 **山口県萩市**  
萩反射炉  
恵美須ヶ鼻造船所跡  
大板山たたら製鉄遺跡  
萩城下町  
松下村塾
- 2 **鹿児島県鹿児島市**  
旧集成館  
寺山炭窯跡  
関吉の疎水溝  
旧集成館機械工場  
旧鹿児島紡績所技師館
- 3 **静岡県伊豆の国市**  
韮山反射炉
- 4 **岩手県釜石市**  
橋野高炉跡および関連遺跡
- 5 **佐賀県佐賀市**  
三重津海軍所跡
- 6 **長崎県長崎市**  
小菅修船場跡  
長崎造船所 第三船渠  
長崎造船所 ジャイアント・カンチレバークレーン  
長崎造船所 旧木型場  
長崎造船所 占勝閣  
高島炭坑  
端島炭坑  
旧グラバー住宅
- 7 **福岡県大牟田市**  
**熊本県荒尾市**  
三池炭鉱 宮原坑  
三池炭鉱 万田坑  
三池炭鉱専用鉄道敷跡  
三池港  
**熊本県宇城市**  
三角西(旧)港
- 8 **福岡県北九州市・中間市**  
八幡製鐵所 旧本事務所  
八幡製鐵所 修繕工場  
八幡製鐵所 旧鍛冶工場  
八幡製鐵所 遠賀川水源地  
ポンプ室